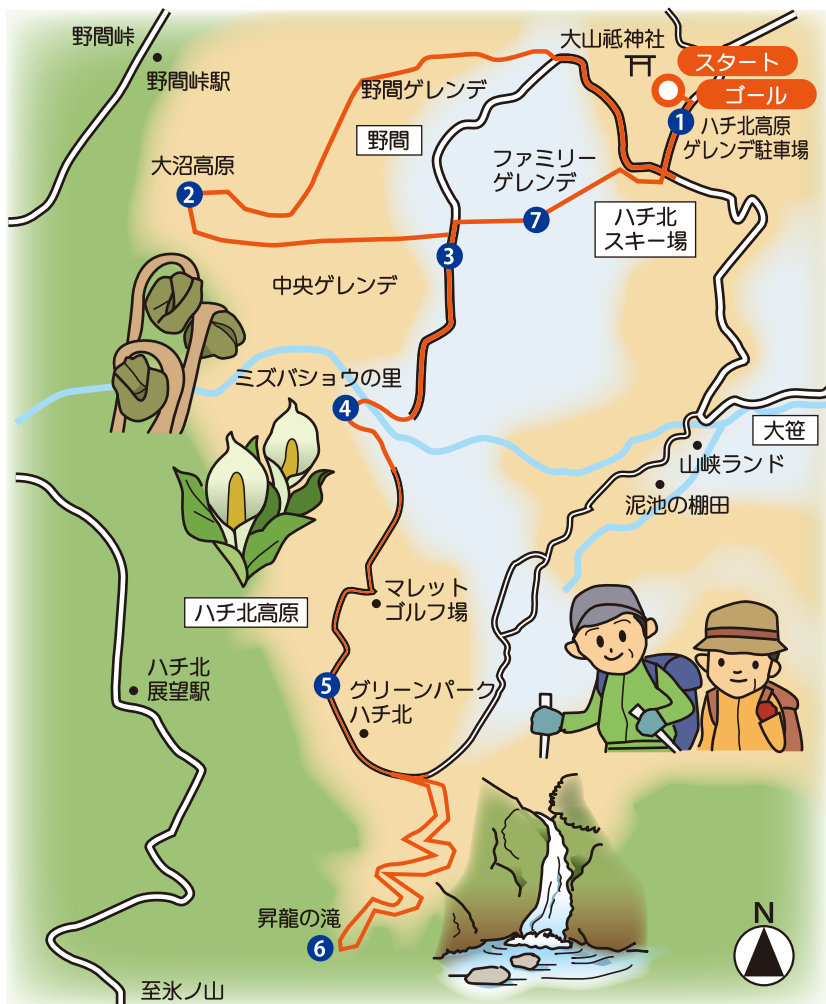


ハチ北高原パノラマウォークコース

冬はスキー場で知られるハチ北高原ですが、春・夏・秋でもザゼンソウなどの珍しい植物や、高原ならではの植物がたくさん自生しており、四季を通して楽しめます。

大沼湿原や昇龍の滝などのスポットが魅力のコースです。(健脚コース)

- ① 「ハチ北高原ゲレンデ駐車場」からのスタートし、ゲレンデ内のアスファルト舗装道に入っていく。
- ② 3分ほど進んだ三叉路で右側のコンクリート舗装道へ進み、急な坂道を20分ほど歩くと「大沼湿原」に到着する。ここは標高約820mに位置する地すべり背後の凹地に発達した高層湿原で、ウッドデッキの遊歩道が整備されており、ヤマドリゼンマイなどの山野草やモウセンゴケなどの湿地植物を見ることができる。ヒメボタルが多く生息する場所でもある。大沼近くの白樺の周りには、5月中旬にラベンダー畑のようなムスカリの群生が広がっている。
- ③ 「大沼湿原」からリフト沿いにゲレンデ内を下り、アスファルトの舗装道に合流したところで、右に曲がる。
- ④ 道なりに10分ほど進むと坂を下った谷間に「ミズバショウの里」が見えてくる。休耕田の棚田を利用して約12,000株ものミズバショウが植えられており、雪解けとともに花を咲かせ、4月上旬から下旬頃に見頃を迎える。
- ⑤ 「ミズバショウの里」から坂を上り、「グリーンパークハチ北」を經由して、坂を下ったところに「昇龍の滝」へと続く道の入口に辿り着く。大きな岩が転がり、トトロの世界のような雰囲気にも包まれた場所である。
- ⑥ そこから右に曲がって大谷川の源流沿いを10分ほど登っていくと「昇龍の滝」に着く。昔、大沼に住んでいた大蛇がこの滝を登って天まで行ったと伝えられている。滝の中央部にゴリラの顔のような岩があり、隣には夫婦滝がある。
- ⑦ 「昇龍の滝」からは元の道を帰っていくが、30分ほど進んだパトロールの建物の先を右に曲がり、ゲレンデ内のウッドチップ道を歩き、丘を越えるとすぐに終点が見えてくる。
「ザゼンソウ群落」では、期間限定(3月下旬頃)ですが、県指定重要文化財と天然記念物に指定されている「ザゼンソウ」を見ることができる。



- 難易度：★★☆
- トイレ：ハチ北高原ゲレンデ駐車場、グリーンパークハチ北
- アクセス：
 - ・電車・バス：JR八鹿駅、全但バス
 - ハチ北停留所 下車
 - ・車：ハチ北高原ゲレンデ駐車場
- 問合せ：ハチ北観光協会
TEL:0796-96-0732

距離(約)

5.5 km

深く積もった雪が解けだす3月下旬、紫色を帯びた濃い茶色の花が顔を出すサトイモ科の多年生草本で、袈裟を着て座禅を組む僧侶の姿に似ているためザゼンソウという名がついている。別名ダルマ草と言い、この名前は達磨大師にちなみ、赤いのは花ではなく仏炎苞(ぶつえんほう)で、この中に花茎がある。